

【22_141技術系メルマガ】チャンスを逃してしまう、そんなあなたへ

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

今週もひとまず終わりました、チャートも一旦止まったところですので

1週間の振り返りをしている人も多いかと思います。

今日はまた来週から動き出す相場に備えて、多くの人の悩みのタネともいえる

「自分の型通りのチャンスを逃してしまう」問題について

ひとつの考えをまとめていきたいと思います。

□
■ 前提として…「全てのチャンス」を捕まえることはできない

のっけから実も蓋もないことを言っているようですが

どれだけしっかり『型』を整備して、厳密なルーティンを定めてトレードしたとしても

「全ての」値動きを捕まえるというのは非常に困難です。

自分が監視している通貨とは別の通貨が、同じ時間に良い動きをしている事もあるでしょうし

一方で自分が監視すると決めた通貨が、思った通りに良い動きをしてくれることもある。

ですがそれは、あくまでも結果論であって、『先の値動きは読めない』という前提でチャートと向き合ってる以上は

『認識できないチャンス』が存在する事を認めてあげる方が楽になれます。

要は、そのいくつかあるチャンスの中の 何個か をモノにできて、無駄な損失を極力出さないように気を付ければ

トレードは勝てるということを腑に落としておくことも重要になります。

┌
└─┬─ 拾うと決めた『チャンス』をモノにする秘訣は、ルーティン化

この大前提を頭に入れたうえで、『型』に沿ったチャンスをモノにするためのチャートとの向き合い方を説明します。

結論、チャートの監視も『ルーティン化』してしまうのがおススメです。

このメルマガを読んでいる人全員が、僕の型を参考にしている人ばかりでは無いので恐縮ですが

参考までに、僕の『型』でトレードする場合の監視ルーティンを言語化してみます。

手順を説明する前に、イメージをインプットしておきましょう。

詳しくは、以下のリンク先の図を見てほしいのですが、僕は『短期足のセットアップ』から分析を始めていくので

まずは『MAの収縮+1波の発生』が起こるのを待ちます。

▼監視を決める一番最初のセットアップ(イメージ図)▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/2022-04-19_0.png

1. M15-5足の『MA収縮』と、『抜けの1波』の形が出来ているチャートを探す
(この間、1時間毎にH1足のローソク確定前後で監視チャートをチェック)

▼収縮MA+1波確認 『ここから監視をスタート』チャート例▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/2022-05-19.png

2. 「1」の条件に合うチャートを見つけたら、プルバック待ち。
併せて上位の時間足を確認し、目線方向への邪魔が無い事も確認しておく。

⇒30分おきくらいに現在値の確認(この時に出来れば損切り位置を決めておくと良い)

3. セットアップが整ったらエントリー(M5足以下のパターン分解を行う場合は、10分ごとにチャートチラ見でチェック)

このように、僕は時間で区切ってチャートを定点観測していますが

大事ななのは

- ・「監視する」と決めるための『セットアップの条件』を明確にしておくこと
(それが出てこないうちは、監視しなくてOK)
- ・監視を始めてからエントリーまでの作業も、ある程度ルーティン化すること

この2点です。

監視のルーティンについては、仕事のかねあい時間で区切るのが難しければ

それに併せて決めてもらえれば大丈夫です。

大事ななのは『無理なく継続できる仕組み』の中でやる事。ノートをつける時の意識と同じですね。

監視条件を規定せずに、漫然とチャートを見ていると段々疲れてきてしまいますし

そうになると、チャンスの場面に対する感度も鈍くなってしまいがちです。

メリハリ・省エネを意識してチャート監視をルーティン化する事で、来るチャンスに

しっかり対応できる状態を作れるようにしましょう。